

令和7年度個別学力試験問題

小 論 文

(経済学部)

解答時間 100分

配 点 200点

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入してください。
3. 解答は解答用紙の指定された解答欄に横書きで記入してください。
4. 問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

問題

【100字】

【900字まででよい。各科目を受験科目で任意の科目を選択する。】

経済学では政策担当者が、社会全体の幸福水準の最大化、つまり最大多数の最大幸福の実現を目的として、様々な社会グループへの影響についてのエビデンスをもとに政策立案をする状況を考えます。国際的な移民問題については、あたかも世界政府があるかのように想定して政策立案を行います。もし、あなたが世界政府の政策担当者だった場合、北米や西ヨーロッパなどへの移民の受入規模の選択にあたって、どのような基準を考えるべきでしょうか。

資料1～3を読んで、それらに基づき、1000字以内(句読点を含む)で論述しなさい。自由経済の発展がもたらす社会全体の幸福水準の最大化を目的として、最大多数の最大幸福の実現を目的として、様々な社会グループへの影響についてのエビデンスをもとに政策立案をする状況を考えます。国際的な移民問題については、あたかも世界政府があるかのように想定して政策立案を行います。もし、あなたが世界政府の政策担当者だった場合、北米や西ヨーロッパなどへの移民の受入規模の選択にあたって、どのような基準を考えるべきでしょうか。

資料1 自由経済の発展がもたらす社会全体の幸福水準の最大化を目的として、最大多数の最大幸福の実現を目的として、様々な社会グループへの影響についてのエビデンスをもとに政策立案をする状況を考えます。国際的な移民問題については、あたかも世界政府があるかのように想定して政策立案を行います。もし、あなたが世界政府の政策担当者だった場合、北米や西ヨーロッパなどへの移民の受入規模の選択にあたって、どのような基準を考えるべきでしょうか。

資料2 自由経済の発展がもたらす社会全体の幸福水準の最大化を目的として、最大多数の最大幸福の実現を目的として、様々な社会グループへの影響についてのエビデンスをもとに政策立案をする状況を考えます。国際的な移民問題については、あたかも世界政府があるかのように想定して政策立案を行います。もし、あなたが世界政府の政策担当者だった場合、北米や西ヨーロッパなどへの移民の受入規模の選択にあたって、どのような基準を考えるべきでしょうか。

資料3 自由経済の発展がもたらす社会全体の幸福水準の最大化を目的として、最大多数の最大幸福の実現を目的として、様々な社会グループへの影響についてのエビデンスをもとに政策立案をする状況を考えます。国際的な移民問題については、あたかも世界政府があるかのように想定して政策立案を行います。もし、あなたが世界政府の政策担当者だった場合、北米や西ヨーロッパなどへの移民の受入規模の選択にあたって、どのような基準を考えるべきでしょうか。

【資料 1】



著作権の関係上、HPでは公開しておりません。

【資料 2】

「世界各国、豊かな国の住民の方が、より人生に満足している」

リチャード・イースタリンが1974年に発表した論文で、国民1人当たりの所得が大幅に増加したにもかかわらず、国民の平均的な幸福感は長期にわたって増加しないことを指摘して以来、お金と満足感の関係は研究者にとって大きな関心事となっている。それ以来、他の研究者たちは、所得よりも雇用や配偶者の有無といった生活環境の方が重要であるとか、所得が人生満足度にとって重要なのは、基本的な欲求が満たされるまでの領域に限られると主張してきた。

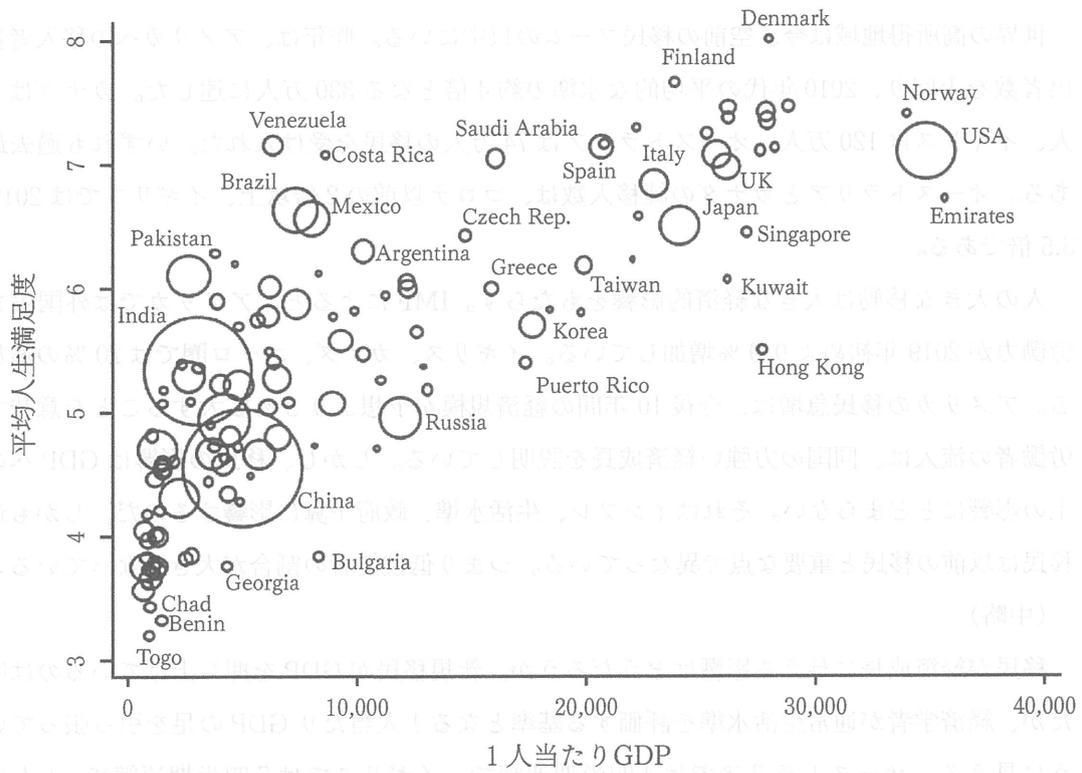
グラフでは、それぞれの円が国で、直径は人口に比例する。横軸は1人当たりGDP^{注1)}、縦軸はその国の平均人生満足度である。サハラ以南のアフリカ諸国の大半は左下、インドと中国は左寄りの2つの大きな円、西ヨーロッパ諸国は右上、アメリカは右上の大きな円である。

グラフが示すように、1人当たりGDPが高い国ほど人生満足度が高い。勾配は最貧国の間で最も急であり、そこでは所得の増加が人生満足度を最も大きく上昇させるが、富裕国の間でもプラスでかなりの勾配を保っている。（中略）

実際、ギャラップ世界世論調査のデータに基づく国別の平均人生満足度の世界地図は、世界の所得地図^{注2)}と見事にマッチする。北米、西ヨーロッパ、日本、オーストラリア^{注3)}、サウジアラビアの住民は豊かで人生に満足しており、国の平均人生満足度は7.5～8.5の範囲にある。地球上でもっとも満足していないサハラ以南のアフリカ、ハイチ、カンボジアは3.1～4.5である。

資料2 グラフ

【資料】



注1) 2000年物価ドル建てで物価の差を調整し、国間で比較可能にした1人当たり所得。

注2) 「平均人生満足度の世界地図」および「世界の所得地図」は、紙幅の都合上、掲載しない。

注3) オーストラリア大陸、ニュージーランド北島、ニュージーランド南島、ニューギニア島およびその近海の諸島を指す。

出典：Angus Deaton, "Worldwide, Residents of Richer Nations More Satisfied," *Gallup*, 2008年2月27日。

(<https://news.gallup.com/poll/104608/Worldwide-Residents-Richer-Nations-More-Satisfied.aspx>, 2024年7月21日)を和訳の上、抜粋・一部改変。

【資料3】

著作権の関係上、HPでは公開しておりません。

著作権の関係上、HPでは公開しておりません。

